

技術の継承問題、どう立ち向かう！ 北海道の産業遺産に学ぶ技術と その今日的意義！

北海道の未来を拓く、技術者の発掘と教育

入場
無料

開催日時 2017年7月7日(金) 13:20～17:20 (開場 12:30)

開催場所 かでる 2.7 (1F かでるホール) 定員最大 500 名

講演会次第

13:20	開会挨拶 一般社団法人 建設イノベーション推進機構 代表理事／金澤 義輝
	第1部：産業技術の歴史的成果（現在を支えてきた技術）と技術史から学ぶ知恵 ＜講演 - I・II シリーズ継続的セミナー＞
13:30～14:10	講演 - I：歴史に学び、未来へつなぐ 「明治産業革命 北海道編 “北海道を支えた土木技術と産業振興”」 北海道産業考古学会会長、北海道遺産協議会監事／山田 大隆
14:15～14:55	講演 - II：技術者よ、現場に学べ！ 「技術映像ライブラリー “北海道の社会基盤をつくりあげた土木技術”」 公益社団法人 土木学会 土木技術映像委員会 委員 一般社団法人 北海道開発技術センター 企画部 上席研究員／原口 征人
14:55～15:10	＜休憩（15分）＞
	第2部：未来につなぐ、未来を拓く！！・・・進化する産業技術！！
15:10～15:50	講演 - III：「鋼橋等、光技術による塗装除去手法」に関する新技術研究 光技術（レーザー）による有害塗装処理の排出量削減の可能性 産学共同研究 学校法人 光産業創成大学院大学 エネルギー分野 教授／藤田 和久 株式会社 トヨコー インフラ事業部 部長／奥田 和男
15:55～16:35	講演 - IV：衛星測位技術の進化と、防災技術への応用 GPS から GNSS へ／衛星測位技術の進化と可能性、地震予測への新たな挑戦 ～北海道の地震予測の現状 公益社団法人 日本測量協会 元会長 JESEA 地震科学探査機構 会長、東京大学名誉教授／村井 俊治
16:40～16:55	その他：クラウドファンディングを活用した「建設業界の新たな魅力の発信」について IPAC 事務局長／下川 紘資
16:55～17:15	質疑応答
17:15～17:20	閉会挨拶 一般社団法人 建設イノベーション推進機構 副理事長／渡辺 邦夫
17:20	閉会宣言

裏面より「講演の主旨」及び「講演概要」を、参照下さいませ。

主 催 ／ 一般社団法人 建設イノベーション推進機構

後 援 ／ 北海道開発局、北海道、北海道教育委員会、札幌市、北海道開発技術センター、北海道建設技術センター、北海道建設業協会、日本技術士会北海道本部、建設コンサルタンツ協会北海道支部、北海道測量設計業協会、札幌市設計同友会、札幌商工会議所、北海道新聞社、北海道建設新聞社、北海道通信社、HBC北海道放送、NHK札幌放送局、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ、UHB北海道文化放送、TVHテレビ北海道

《連絡先》 一般社団法人 建設イノベーション推進機構

代 表 者：代表理事 金澤 義輝

住 所：札幌市東区北 23 条東 15 丁目 5-25 ノーヴル 23-203

TEL・FAX：TEL (011) 731-3750 FAX (011) 731-3750 (※担当者直通：専務理事 下川 俊克) 090-4878-5046

URL : http://www.ipac.or.jp/

講演の主旨

現代社会は過去と未来の狭間にあって、先人の偉大な業績のもとに育まれ、その遺産を未来に適切に引き継いでいく使命を担っています。この遺産の継承に必要な“遺産・知恵への適切な理解”とともに進化する科学・技術の視点から維持補修・保全技術のあり方への新たな取組が求められます。同時に、これらの課題を担う技術者の“技術継承”、“技術者教育”が重要な社会要請となっています。

これら課題への取組から本講演を2部構成とし、第1部を産業・技術史、第2部を新技術開発への視点から学びます。特に、第1部は今後、継続セミナーとして開催し、理解と普及を図る場とします。

講演概要

第1部：産業技術の歴史的成果（現在を支えてきた技術）と技術史から学ぶ知恵！

＜講演-I、II、シリーズ継続的セミナー＞

講演-I：歴史に学び、未来へつなぐ「明治産業革命 北海道編 “北海道を支えた土木技術と産業振興”」 13:30～14:10 (40分)

現代社会のインフラは、様々な時代の構築物から構成されています。インフラ整備に求められる技術には歴史を受継ぐ技術側面と、招来する維持管理に向けた未来志向の技術側面があります。本講演では、北海道の社会インフラの基盤を築いてきた明治以降の産業遺産を支えた技術の変遷とその社会的背景から、遺産の今日的意義を探ると共に、その未来への保全の意義、そのための維持補修技術に関する知恵を学びます。

北海道産業考古学会会長、北海道遺産協議会監事 / 山田 大隆

講演-II：技術者よ、現場に学べ！「技術映像ライブラリー “北海道の社会基盤をつくりあげた土木技術”」 14:15～14:55 (40分)

現代社会を支えるインフラ資産は、今と異なる技術体系で構築されてきたものです。未来に資産を引き継いでいく維持補修・保全には、当時の建設技術に対する適正な理解と継承が求められます。本講演では、過去の施工映像の鑑賞と技術史的な解説から、技術継承への理解を深めていただきます。

公益社団法人 土木学会 土木技術映像委員会 委員
一般社団法人 北海道開発技術センター 企画部上席研究員 / 原口 征人

第2部：未来につなぐ、未来を拓く！ 進化する産業技術！！

講演-III：「鋼橋等、光技術による塗装除去手法」に関する新技術 光技術（レーザー）による有害塗装処理の排出量削減の可能性 15:10～15:50 (40分)

旧世代の鋼橋等、その塗装材には有害物質が含まれるものも多く、今、それらの更新時期を前に、塗装の剥離工法、養生問題、そして廃棄物として出る有害塗装片の処理等、それぞれ非常に高価で処理施設も少なく、今後、大きな問題になりつつあります。ここでは、新たに開発されたレーザークリーニング技術による錆および塗膜除去技術の原理と実用化検討、および実橋梁の有害塗装の産廃量削減に関する検討事例を紹介します。

産学共同研究 学校法人 光産業創成大学院大学 エネルギー分野 教授 / 藤田 和久
株式会社 トヨコー インフラ事業部 部長 / 奥田 和男

講演-IV：衛星測位技術の進化と防災技術への応用 GPSからGNSSへ / 衛星測位技術の進化と可能性、地震予測への新たな挑戦 ～北海道の地震予測の現状 14:15～14:55 (40分)

衛星測位技術は、GPSの登場によって劇的に進化した。そして更に準天頂衛星の増加など、GNSS観測網の更なる整備により、その精度も又一段と進歩した。ここでは、国内多くの電子基準点網を利用、時々刻々と動くわが国の地表、及び地殻変動などを、全国一様に監視する事にいち早く着目、これを更に防災技術として“地震予測”へと活用研究を考案、今、まさに海外からも着目され、そして多くの防災系TV出演で知られる、東大名誉教授 村井俊治 先生をお招きし、衛星測位技術の進化と、北海道における地殻変動、地震予測などについて講話をいただきます。

公益社団法人 日本測量協会 元会長 (H19～H27)
JESEA 地震科学探査機構 会長、東京大学名誉教授 / 村井 俊治

参加申込

団体名	
役 職	氏 名

参加申し込み FAX（事務局 集計係） **011-743-1708**

メールアドレス：ipac-info@ipac.or.jp